

に至る幅広い環境に広く生息する。本種の分布は広範で、全北区に加え、新熱帯区からの記録もある。欧州や北米では生物的防除の有用な天敵資材として注目されてきた。もし、日本で *Coprochara* 亜属を用いた生物的防除に取り組むのであれば、本種が最も有力な候補であろう。

計測値の平均 (n = 15): BL, 3.63; FBL, 1.72; AL, 0.87; PL, 0.65; PW, 0.84.

国内の分布: 北海道, 本州, 四国, 九州.

キバネヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Coprochara) binotata* Kraatz, 1856 (図 2, 5)

Yamamoto & Maruyama (2013) で日本初記録種として北海道から記録した。従来大陸の冷涼地から知られていた種であり、東北地方では分布の可能性があるが、おそらく関東地方以南には生息していないものと思われる。分布は欧州を中心に東シベリアまで広がり、日本が分布の東限にあたる。「原色日本甲虫図鑑 (II)」(柴田, 1985) でフタモンヒゲブトハネカクシ "*A. bipustulata*" として図示されている種は本種である。

計測値の平均 (n = 10): BL, 3.58; FBL, 1.69; AL, 0.80; PL, 0.61; PW, 0.77.

国内の分布: 北海道.

フトツヤケシヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Coprochara) squalithorax* Sharp, 1888 (図 3, 6)

本亜属の中で数少ない海浜性種である。砂浜に漂着している海藻塊から見出され、砂利浜には生息しないようである。形態的な特徴から以前は 1 亜属 (属) 1 種で *Skenochara* 亜属 (属) に

分類されていた。その後、Maus (1998) によって、*Skenochara* は *Coprochara* 亜属のシノニムにされた。分布は東アジアに限定されており、日本以外からは韓国からの記録がある。Yamamoto & Maruyama (2013) では上翅の色彩変異について触れていて、多くの個体は図示したような全身灰褐色であるものの、検視標本の 12.6% は上翅が黄褐色を呈していた (n = 470)。

計測値の平均 (n = 15): BL, 3.48; FBL, 1.88; AL, 0.73; PL, 0.69; PW, 0.88.

国内の分布: 北海道, 本州, 四国, 九州, 種子島.

#### 引用文献

- Maus, C., 1998. Taxonomical contributions to the subgenus *Coprochara* Mulsant & Rey, 1874 of the genus *Aleochara* Gravenhorst, 1802 (Coleoptera: Staphylinidae). *Koleopterogische Rundschau*, 68, 81–100.
- Maus, C., Peschke, K. & Dobler, S., 2001. Phylogeny of the genus *Aleochara* inferred from mitochondrial cytochrome oxidase sequences (Coleoptera: Staphylinidae). *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 18 (2): 202–216.
- 柴田泰利, 1985. ヒゲブトハネカクシ亜科. 上野俊一, 黒澤良彦, 佐藤正孝編著, 原色日本甲虫図鑑 (II): 318–321 (pl. 56). 保育社, 大阪.
- Welch, R. C., 1997. The British species of the genus *Aleochara* Gravenhorst (Staphylinidae). *The Coleopterist*, 6 (1), 1–45.
- 山本周平・丸山宗利, 2013a. 日本産ヒゲブトハネカクシ属 *Aleochara* の種同定の手引き I. 海浜性 *Emplenota* 亜属. さやばねニューシリーズ, (9): 1–5.
- 山本周平・丸山宗利, 2013b. 日本産ヒゲブトハネカクシ属 *Aleochara* の種同定の手引き II. 海浜性 *Triochara* 亜属. さやばねニューシリーズ, (10): 1–4.
- Yamamoto, S. & Maruyama, M., 2013. Revision of the subgenus *Coprochara* Mulsant & Rey of the genus *Aleochara* Gravenhorst from Japan (Coleoptera: Staphylinidae: Aleocharinae). *Zootaxa*, 3641 (3): 201–222.

(2013年11月12日受領, 2013年12月8日受理)

#### 【短報】 *Clada okinawana* の屋久島からの記録

*Clada okinawana* Sakai, 1991 は、シバンムシ科オオシバンムシ亜科に属し、沖縄県沖縄島南城市久手堅産の 1 雌によって記載され、沖縄島でのみ記録されている

(Sakai, 1991; 屋富祖ほか, 2002). 筆者は屋久島産の本種を持っているので報告する。

1♀, 鹿児島県屋久島屋久町栗生, 26. V.



図1. 屋久島産 *Clada okinawana* の背面 (左) と側面 (右)。

2009, 向山敬延採集。

体長は 6.6 mm, 本種は屋久島から採集されているが (酒井博士, 私信), 公式記録はまだなかった。

様々なご教示を頂いた酒井雅博博士, いつも標本を提供してくださる向山敬延氏にお礼を申し上げます。

#### 引用文献

- Sakai, M., 1991. Studies on the Anobiidae (Coleoptera) from Japan and neighboring countries. IX. Occurrence of the genus *Clada* Pascoe in the Ryukyus. *Trans. Shikoku Ent. Soc.*, 19: 167–170.
- 屋富祖昌子ほか編, 2002. 増補改訂 琉球列島産昆虫目録. 570 pp. 沖縄生物学会.

(田中 稔 663-8002 西宮市一里山町 19-18)